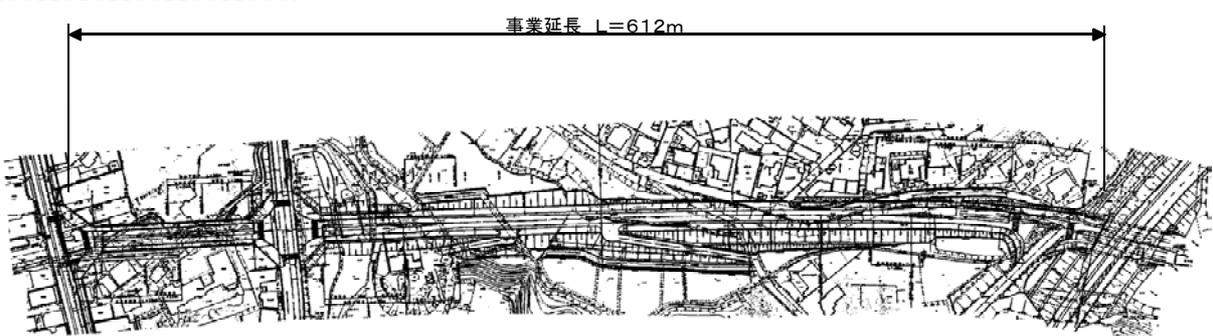


再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課 : _____
 担当課長名 : _____

事業名	3・4・4号観音林脇雑吉沢線		事業区分	街路	事業主体	青森県
起終点	自：青森県上北郡野辺地町字種川 至：青森県上北郡野辺地町字雑吉沢				延長	0.61km
事業概要	野辺地町の中心市街地と市街地を縦断する国道279号と国道279号バイパスをアクセスする幹線道路である。					
H8年度事業化	H51年度都市計画決定 (H9年度変更)		H9年度用地着手		H12年度工事着手	
全体事業費	13億円		事業進捗率	86%	供用済延長	0km
計画交通量	1500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体)	1.36	(残事業)/(事業全体) 3 / 14 億円		(残事業)/(事業全体) 19 / 19 億円	
	(残事業)	6.33	事業費：2 / 13 億円 維持管理費：1 / 1 億円		走行時間短縮便益：19 / 19 億円 走行費用減少便益：0 / 0 億円 交通事故減少便益：0 / 0 億円	
事業の効果等	現道は幅員も狭く歩道も整備されていない状況にあり、本路線の整備により円滑な都市交通及び自転車歩行者の安全の確保が図られるものである。					
関係する地方公共団体等の意見	野辺地町が当路線の整備促進を重点要望している。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	特になし					
事業の進捗状況、残事業の内容等	一部用地の取得にあたり行方不明者が存在したため土地収用法による手続きを進めているが、阻害要因もなく平成17年度中に用地取得が完了の見込みとなっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成18年度末の供用開始が見込まれている。					
施設の構造や工法の変更等	特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	事業延長 L=612m 					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。